2021 年 4 月 26 日

当社グループ従業員を騙った不審メールに関する調査報告書

伊藤ハム米久ホールディングス株式会社

2020 年 9 月 15 日頃より発生しておりました弊社グループ従業員を騙った「なりすましメール」に関しまして、関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

この件につきまして、外部のセキュリティ専門機関を起用し、被害状況や感染経緯等について詳細な調査を実施いたしましたので、下記のとおりその結果をご報告いたします。

記

1．弊社にて確認できた主な事実

- 弊社グループの複数台のパソコン端末が「Emotet」(エモテット)と呼ばれるコンピュータウイルスに感染していたこと。
- 過去に弊社グループ従業員とメールで連絡をされたことのあるお客様ならびに関係者の皆様へ、弊社従業員の氏名、メールアドレス、メールの内容等の一部を流用した不審メール(なりすましメール)が送信されていたこと。

2．調査結果の概要（時系列など）

- 2020 年 9 月 15 日から数日の期間において、複数台のパソコン端末が「Emotet」に感染しているおそれがあることを確認し、それらのパソコン端末については、ただちにネットワークより隔離いたしました。
- 感染が確認されたパソコン端末に対するセキュリティ専門機関による解析の結果、外部へ持ち出されたデータを確定する明確な痕跡を確認することはできませんでした。なお、「Emotet」が外部にデータを送信する際の記録（痕跡）は、パソコン端末から消去されておりましたが、これは「Emotet」による挙動の結果と考えられます。
- 関係者の皆様からご連絡いただきました一連の不審メール（なりすましメール）に関するお申し出等から、流出した情報は、感染した端末のメールソフトの履歴に残っていた「送受信したメールアドレスと名前」「メール本文」の一部であった可能性があります。

3．再発防止策

- 従業員への情報セキュリティ教育の実施
- メールサーバ、ネットワークの通信状況の監視強化
- セキュリティマネジメントの確立・整備

弊社では、今回の事態を受け、上記再発防止策を含め、より一層の情報セキュリティ強化と従業員の情報セキュリティに関するリテラシー向上を推進してまいります。

関係者の皆さまには多大なるご迷惑をお掛けしましたことを重ねてお詫び申し上げます。

以上

【対応の時系列】

２０２０年

９月１５日：弊社のパソコン端末に対して、なりすましメールが急増したことを確認。
グループ内の専門部署による調査・グループ内のネットワーク監視の強化、全パソコン端末のウイルスチェック開始。以降、ウイルスチェックの頻度を上げて対応。

９月１６日：外部のセキュリティ専門機関と連携し、調査に必要な情報の提供開始。

９月１８日：伊藤ハム米久ホールディングス、伊藤ハム、米久各社のＨＰに、なりすましメールに関する注意喚起を掲載。本件に関するお問い合わせ窓口を設置。

１０月１日：外部のセキュリティ専門機関による端末の詳細解析等の開始

２０２１年

１月１８日：従業員を対象としたメール訓練実施（１回目　期間　約１週間）

２月１０日：外部のセキュリティ専門機関の調査終了

２月１５日：従業員を対象としたメール訓練実施（２回目　期間　約１週間）